

あ・と・が・き

当調教場の屋外の直線馬場における調教タイムの計測は、今まで困難を極めてまいりましたが、1,600m直線砂馬場において、馬が走路脇のハロン棒（200m～1,200mの間、5ハロン分）を通過した時、ライトが点灯するハロンシグナル装置を5月に設置しましたので、タイム計測にお役立てください。

4月に入講した当センター研修生（25期）は、騎乗技術のレベルに合わせた騎乗訓練（3班体制）から始め、全員での合同訓練、走路騎乗へと移行してきました。また騎乗訓練以外でも、日高管内の牧場見学を実施して見聞を深めるとともに、普通救命講習を受講し、事故発生時等における応急処置ができるように取り組んでおります。（Y.H.）

「たづな」欄は、今春BTC役員の人異動があり、杉本 修新専務理事の就任にあたっての抱負を語っていただきました。海外経験が長く軽種馬生産育成には大変造詣が深いので、そこで培われた経験を生かした活躍が期待されますので、よろしく願いいたします。

「サイエンティストからの提言」欄は、馬の蹄疾患の研究者であるJRA競走馬総合研究所臨床医学研究室の桑野睦敏主任研究役に、馬房の敷料の非衛生的な管理に起因した蹄疾患について解説いただきました。馬が速く走るためには蹄の衛生管理は大変重要ですので是非参考にしてください。

「調査研究」欄は、日高地方の放牧地の管理について、日高地区農業改良普及センター東部支所の浅石 齊専門普及員に土壌管理として簡易更新の実際について寄稿いただきました。地域特性に即した放牧地の管理に役立てていただければと思います。

今号では、育成調教技術者養成研修の第24期修了者の中から役割や係を務められた皆さんに研修内容の一端を紹介していただきました。関心を持っておられる若い皆さん方の参考になれば幸いです。（T.Y.）